

2009年3月期（第13期） 決算説明会資料

（2008年4月～2009年3月）

2009年5月15日

証券コード：9424（大証ヘラクレス）

目次

I. 2009年3月期の決算にあたり

(代表取締役社長 三田 聖二)

II. 2009年3月期の業績および2010年3月期見通し

(常務取締役CFO 福田 尚久)

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

2009年3月期の決算にあたり

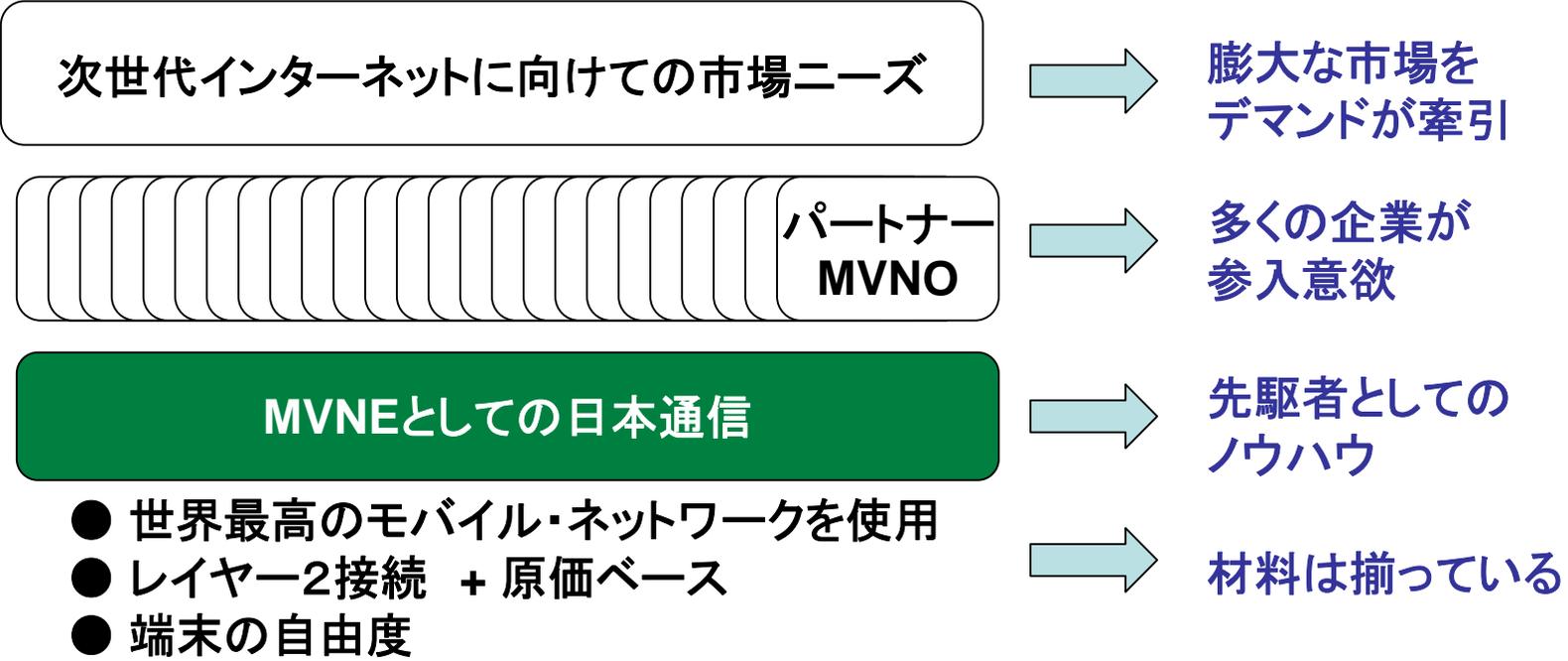
代表取締役社長 三田 聖二

事業基盤を確立した1年

- | | |
|---------|------------------------------|
| 2008年6月 | ドコモとの接続交渉を完了 |
| 8月 | 3G製品発売 b-mobile3G, ICare3G |
| 10月～ | 丹後通信が地域密着型MVNOの実例を示す(有害鳥獣対策) |
| 11月 | MVNOからMVNEへの戦略シフト |
| 2009年3月 | ドコモとのレイヤー2接続完了 |
| 3月 | レイヤー2接続を活かした新製品「ドッチーカ」発売 |

3年かかったが、もともとお約束していたMVNOの事業基盤づくりを完了した

MVNEとしての成長戦略を実現する1年目

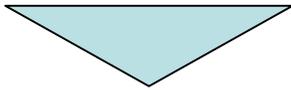


スケーラブルな事業モデルにより、巨大市場におけるリーダーシップを確立へ

中長期的な展望

モバイル・ブロードバンド時代は
MVNO事業モデルが支える

- 2009年2月 UQがWiMAXの試験サービス開始 
- 2009年4月 ウィルコムがXGP(次世代PHS)のエリア限定サービス開始 
- 2009年5月 LTE(3.9世代)免許を4社が申請 



WiMAX, XGP, LTE全て、MVNOへのネットワーク提供が実質的な免許条件

日本通信が創業時から描いていたMVNO事業モデルの意義が認められた

2009年3月期の業績および

2010年3月期見通し

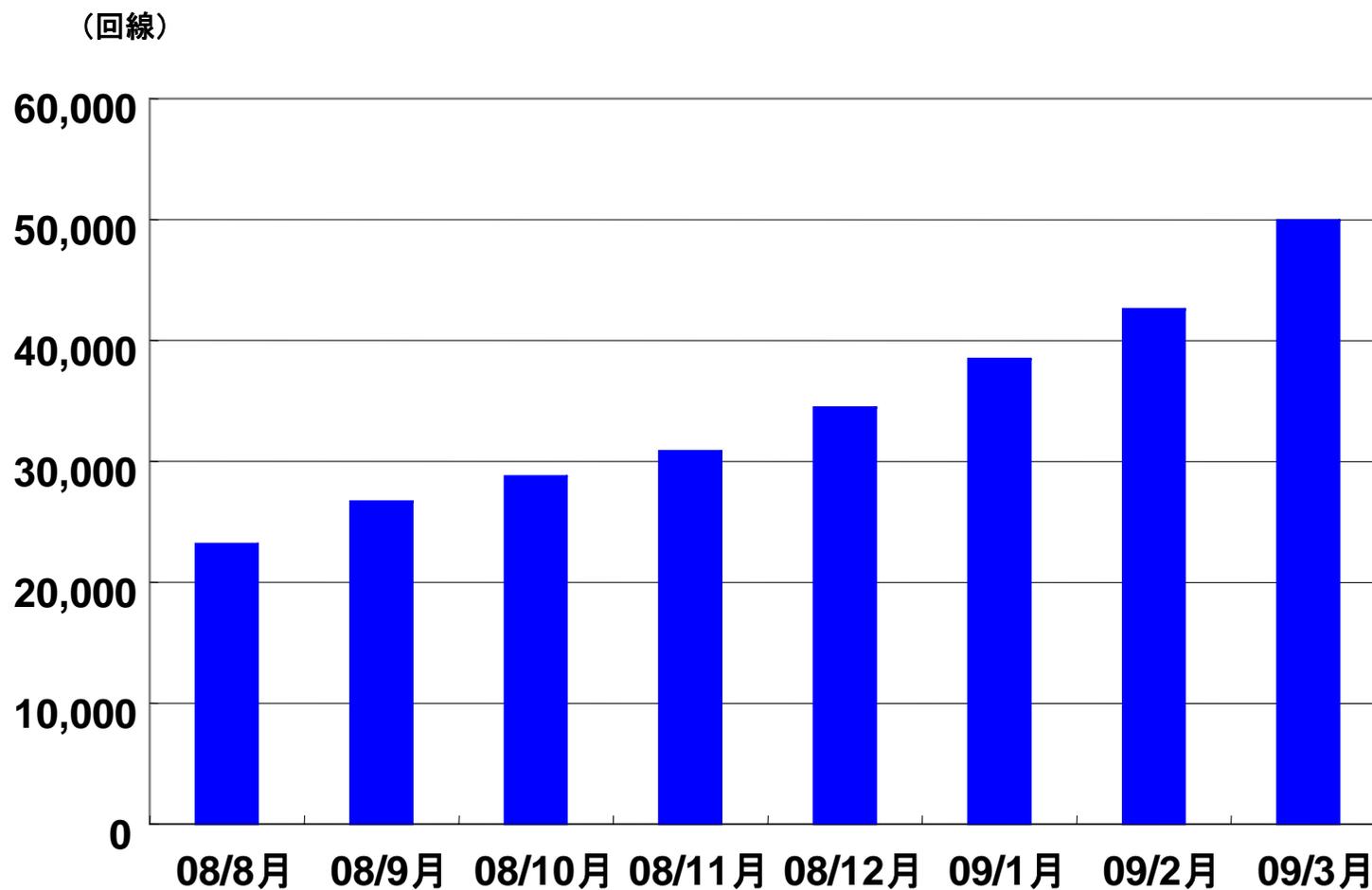
常務取締役CFO 福田 尚久

2009年3月期 連結決算

(単位:百万円)

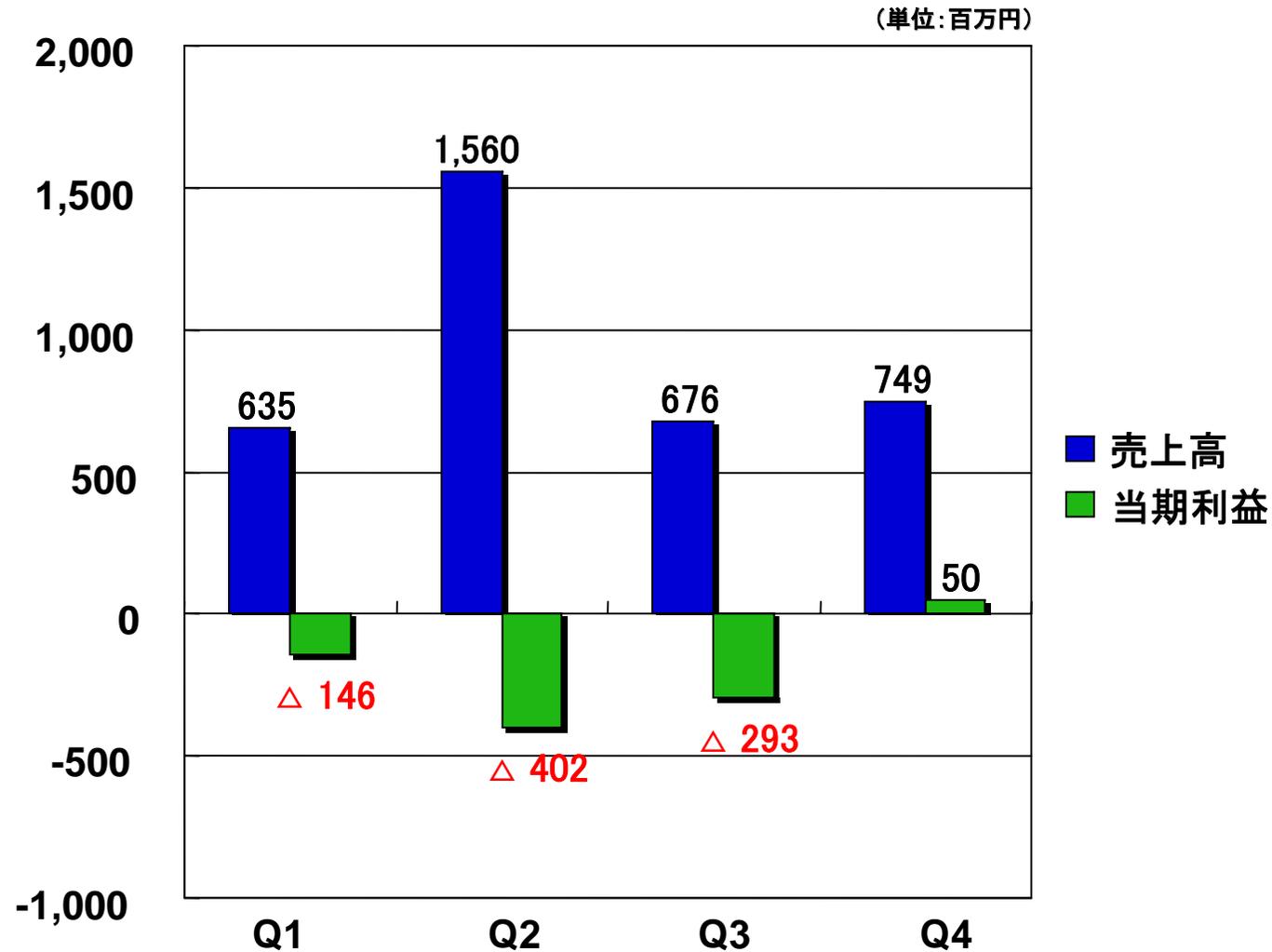
	09/3月期		08/3月期	
	(実績)	(予想)	(実績)	対比(%)
売上高	3,675	3,650	3,419	7.5%
データ通信	3,155	—	2,354	34.0%
音声	519	—	1,064	△51.2%
経常利益	△1,191	△1,230	△1,063	—
当期純利益	△1,192	△1,240	△1,946	—

3G回線数推移



2009年3月期 単体の四半期推移

第4四半期は単体ベースでは黒字化



2009年3月期のP/L(連結)

(単位:百万円)

科目名	2009年3月期 第1四半期	2009年3月期 第2四半期	2009年3月期 第3四半期	2009年3月期 第4四半期	2009年3月期 累計
売上高	639	1,566	690	779	3,675
売上原価	526	740	666	667	2,599
売上総利益	112	826	24	111	1,075
繰延利益繰入	—	△ 937	△ 188	△ 262	△ 1,388
繰延利益戻入	—	178	345	396	920
差引売上総利益	112	66	181	246	607
販管費	382	530	434	372	1,720
営業利益	△ 270	△ 463	△ 252	△ 126	△ 1,112
経常利益	△ 246	△ 499	△ 389	△ 55	△ 1,191
当期純利益	△ 248	△ 504	△ 391	△ 48	△ 1,192

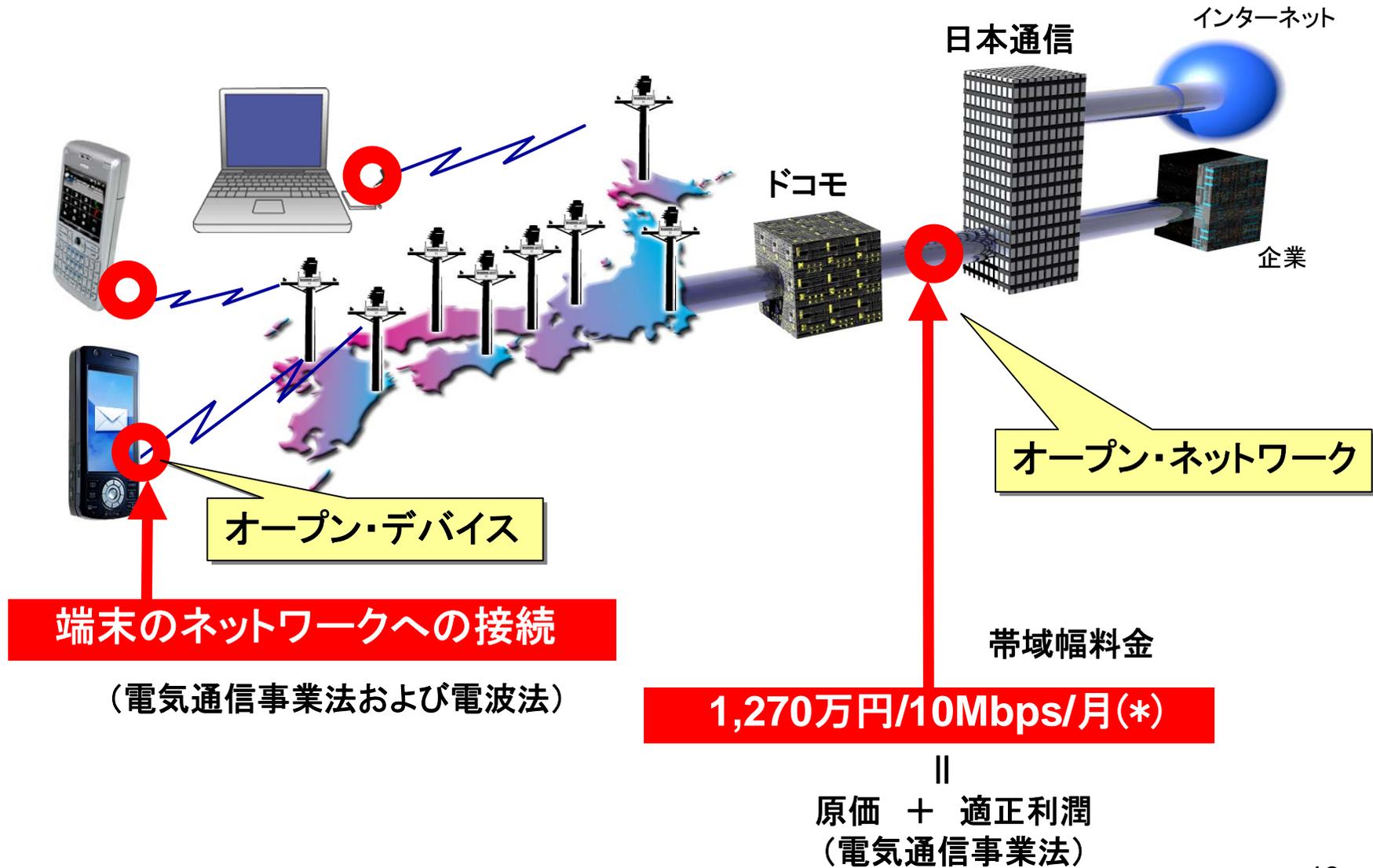
貸借対照表ならびにキャッシュ・フロー計算書

	09/3月期	08/3月期
資産		
流動資産	1,088	1,005
現預金	363	196
MMF	59	230
売掛金	409	356
商品等	198	145
その他流動資産	57	76
固定資産	1,354	1,418
有形固定資産	272	223
無形固定資産	1,014	1,070
投資等	66	124
資産合計	2,442	2,424
負債		
流動負債	1,250	1,260
買掛金	279	294
短期借入金	314	466
その他流動負債	656	499
固定負債	886	534
負債合計	2,137	1,794
純資産	305	629
負債純資産合計	2,442	2,424

(単位:百万円)

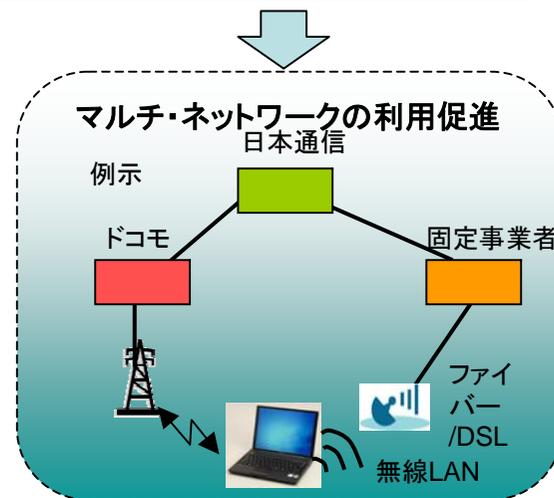
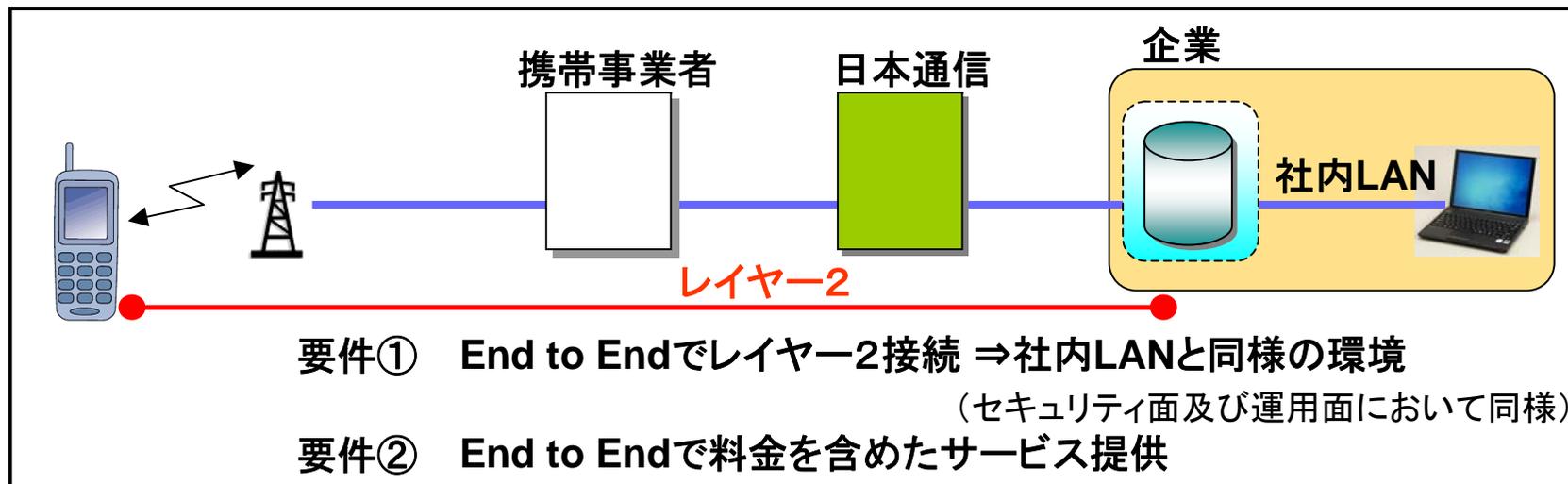
	09/3月期	08/3月期
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△661	△ 405
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 252	△ 554
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	889	△ 152
IV 現金同等物の増減額	△ 9	△ 1,182
V 現金同等物期首残高	426	1,609
VI 現金同等物期末残高	422	426

日本通信が実現したこと:2つの接続

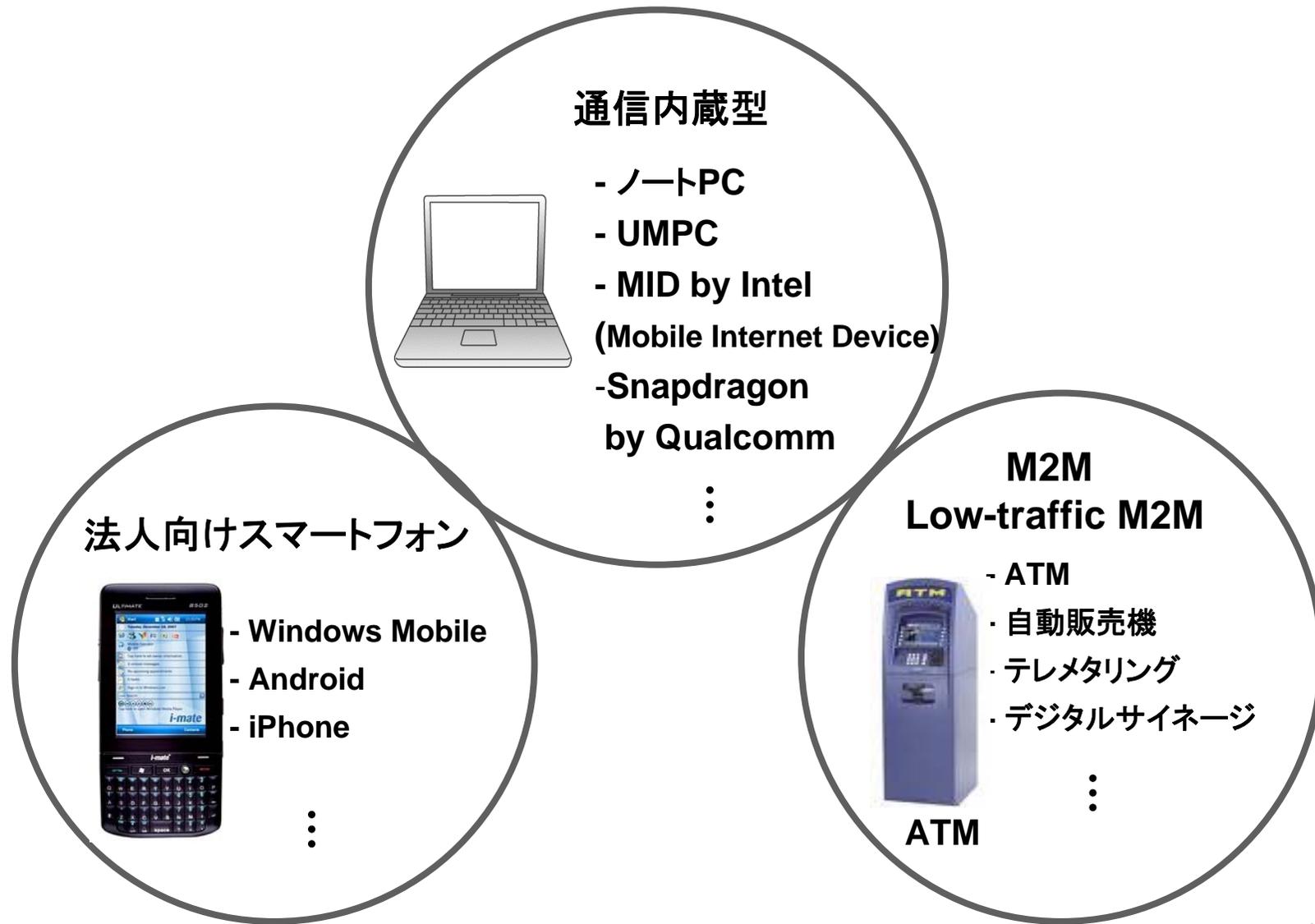


レイヤー2接続完了

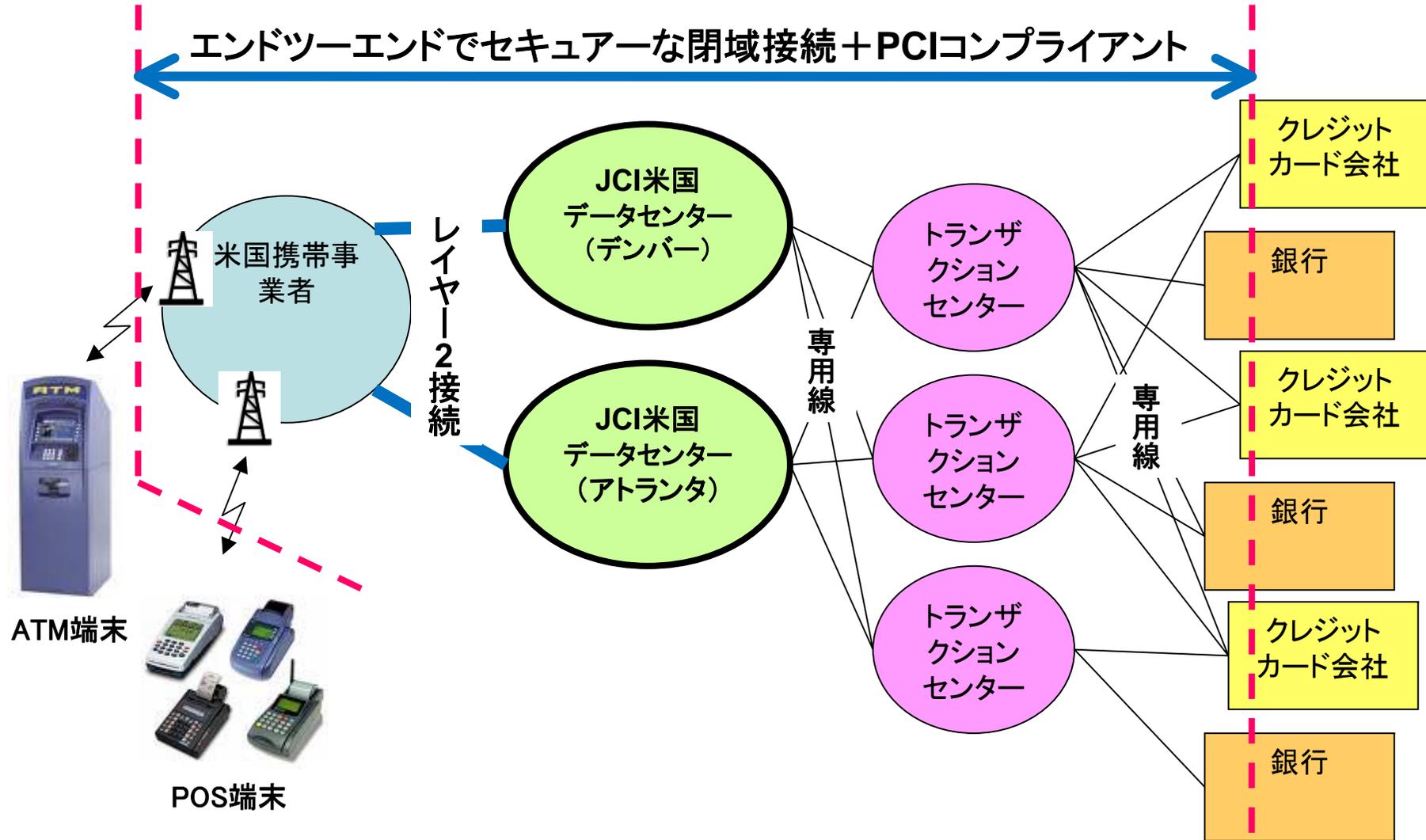
キャリア以上のサービス提供が可能



現時点での注力分野



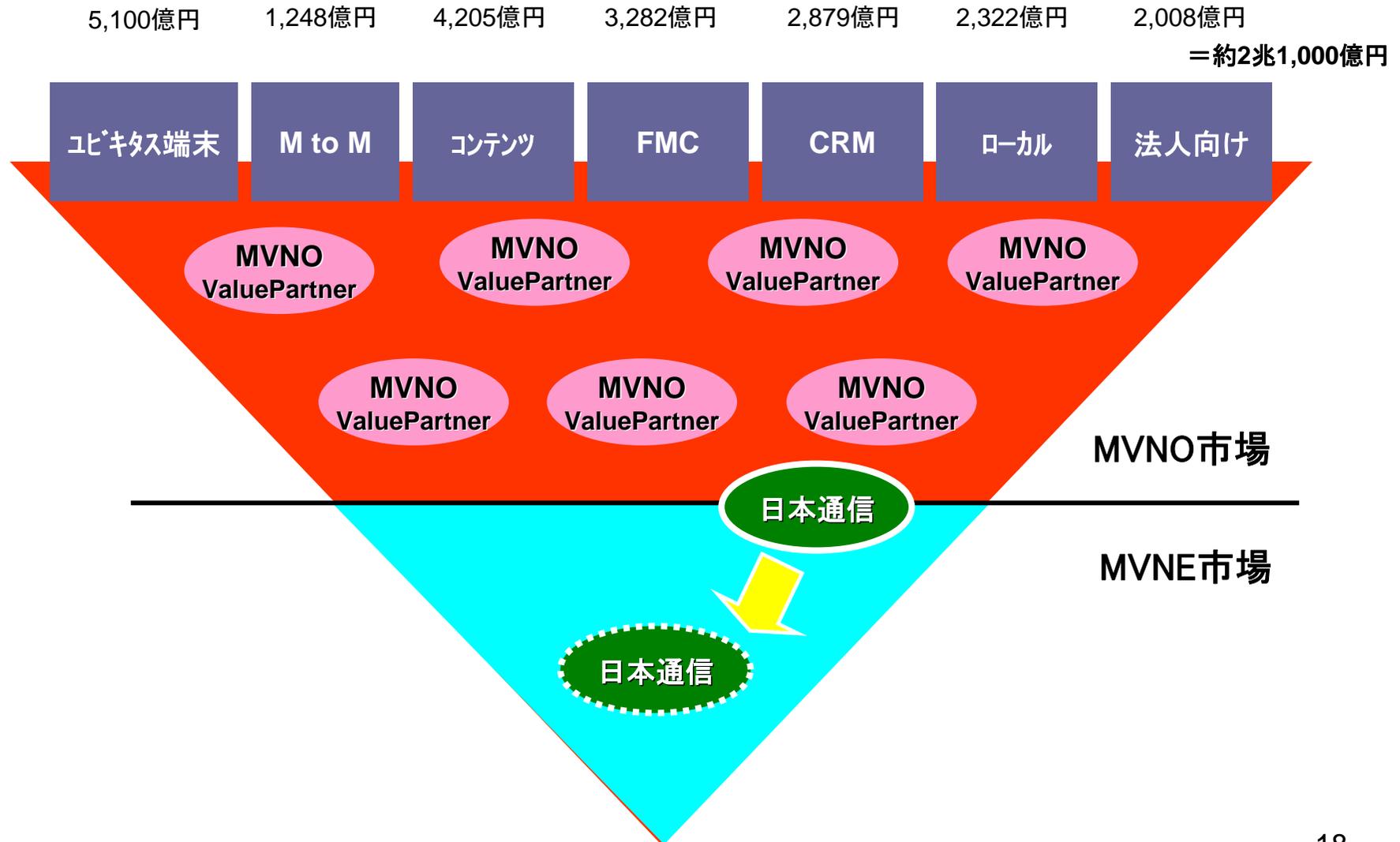
米国事業



ふるさとケータイ事業

- 2007年 8月 丹後通信を設立
- 2007年11月 福田内閣のもと、IT戦略本部が「ふるさとケータイ」プロジェクトを立ち上げ
- 2008年 2月 麻生内閣、ふるさとケータイを地域活性化対策として位置付け
- 2008年11月 ふるさとケータイの第1号モデルとして丹後が選ばれる
総務省、ふるさとケータイのモデル事業を公募
- 2009年 3月 首相の経済財政諮問会議において、農林水産大臣および総務大臣がふるさとケータイを農業振興に活用と発表
- 4月 総務省、ふるさとケータイのモデル事業を新たに公募

バリューパートナー戦略の展開

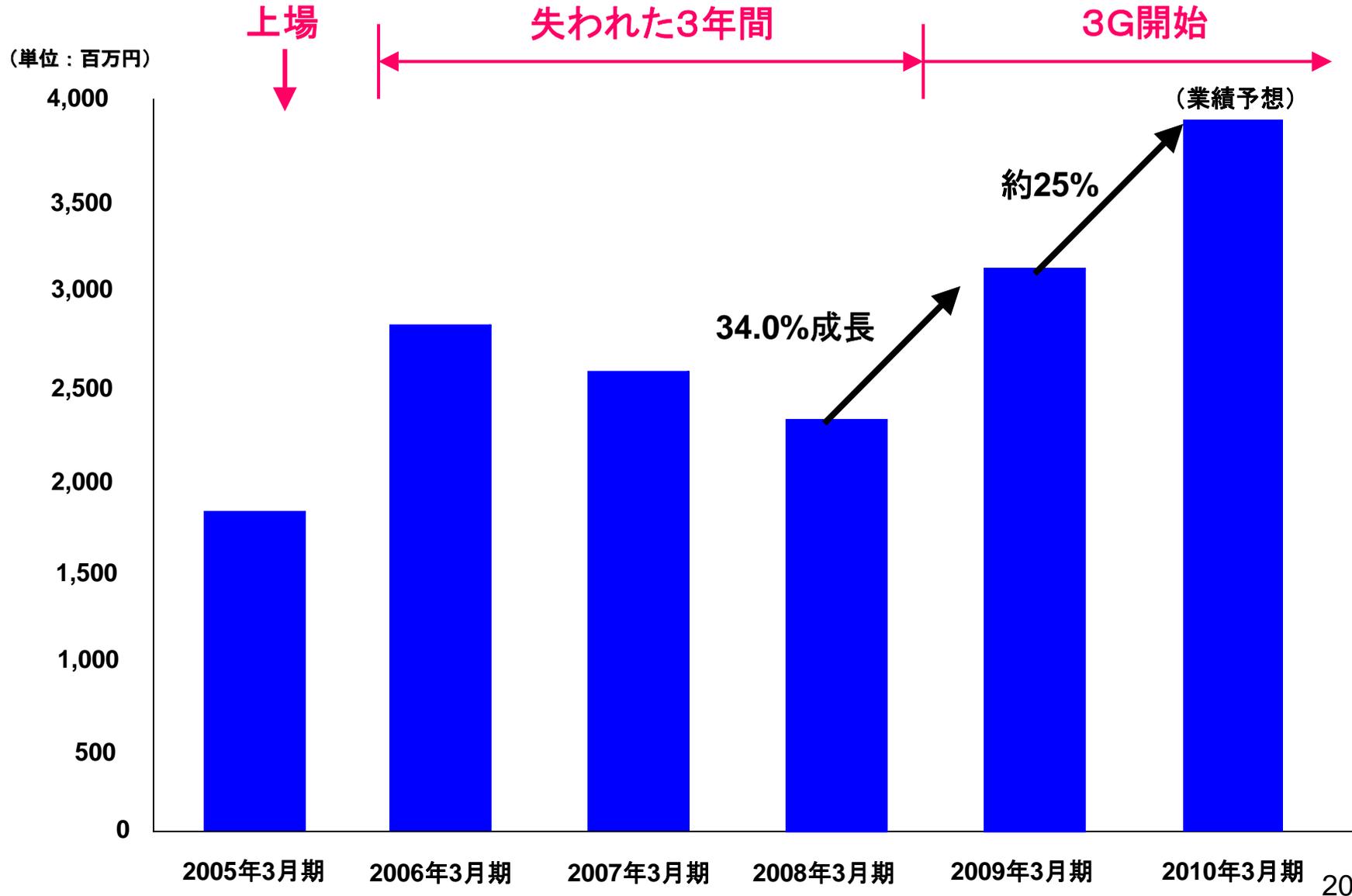


2010年3月期 業績予測(連結)

(単位:百万円)

	2009年3月期 第1四半期実績	2009年3月期 第4四半期実績	2009年3月期 通年実績	2010年3月期 第1四半期予測	2010年3月期 通期予測
売上高	639	779	3,675	650	4,200
営業利益	△ 270	△ 126	△ 1,112	△ 270	130
経常利益	△ 246	△ 55	△ 1,191	△ 280	105
当期純利益	△ 248	△ 48	△ 1,192	△ 282	100

データ通信売上推移



モバイルブロードバンド時代の到来

